

平成29年度 学校関係者評価報告書

大阪市立塩草立葉小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は、おおむね妥当である。

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」および保護者アンケート、「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、「大阪市小学校学力経年調査」の結果等からも、当初の目標をほぼ達成している。今後も、引き続き教育活動をすすめてほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

学校の年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度以下にする。
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度以下にする。

達成状況は、妥当であると評価する。

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は、95%以上であった。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合は90%以上であった。
(平成28年度 93% → 平成29年度 93%)

- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数は、前年度以上であった。
- 平成29年度末の校内調査において新たに不登校になる児童の割合は前年度以下であった。

学校の年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上減少させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

達成状況は、妥当であると評価する。

- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点は、前年度と同様であった。
(平成28年度 104.0 → 平成29年度 104.0)
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、1つの学年で前年度より1ポイント以上減少させた。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、2つの学年で前年度より1ポイント以上増加させた。
- 平成29年度の大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させた。(平成28年度76%→平成29年度82%)

3 今後の学校園の運営についての意見

○子どもたちの安心や学力・体力向上のため、学校は教育活動によく励んでいると評価できる。今後も、保護者や地域と連携しながら、いろいろな課題に取り組んでほしい。